

□□ _____ □□

1. トピックス ... 「2023 旭川全国大会」渡辺顧問の尽力で良い大会に

□□ _____ □□

「2023旭川全国大会」が、5月12日（金）に北海道の旭川で開催されました。会場参加者は26名。オンラインは6名でした。会場は忠別川のほとりの雰囲気の良いところでした。詳細報告は以前お伝えしましたので触れませんが、地元幹事の渡辺顧問の尽力で良い大会となりましたことをお伝えいたします。

来年は初ガツオのシーズンに高知で開催です。羽を伸ばして語り合いましょう。

□□ _____ □□

2. お知らせ 第26回日本自費出版文化賞の1次選考が始まる

□□ _____ □□

第26回日本自費出版文化賞の1次選考が始まりました。出来る限り1作品を複数の選考委員が評価するようにしていますので、1次選考委員はなるべく早く審査して回すようにしましょう。

2次選考会は7月15日（土）ジャグラの本部がある日本橋小伝馬町のニッケイビルにて対面で行われます。

□□ _____ □□

3. お知らせ ... □2023年度第1回役員会が6月14日に開催

□□ _____ □□

今年度の第1回役員会がオンラインで6月14日に開かれます。主な議題は今年度事業計画の進め方と今年度の目標地点となります。

□□ _____ □□

4. 自費出版事情... ～会員便り～№65

□□ _____ □□

株式会社スリースパイス
代表取締役 渡辺一正

日本国の長引く経済不況、そして出版業界の不況が続く中、当社は2016年11月にAmazonのプラットフォームを活用した自費出版サービス「POD出版（プリントオンデマンド出版）」を開始いたしました。サービスの特徴としては、「誰でもタダで紙の本が出版できる」というもので、著者様にとって自費出版の際に大きな負担となる印刷費を、Amazonの受注生産型プラットフォームを活用することで負担額を0円にすることができ、実現できたサービスです。本サービスの利用者様は、「本を出したいけどお金がない」という高齢者や主婦、学生等で、サービス開始以来300名弱の著者様にご愛顧いただいております。インターネットの急激な発展から早30年。

SNSや動画配信サイトといった様々なツールで一人ひとりが世界中に情報発信できるようになり、繋がることができるようになった今だからこそ、オンデマンド印刷という特徴を活かし、誰か一人のために作られた本があってもいいのではないかという思いで、本事業をおこなっております。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ高知 その 1

□□ _____ □□

「高知は山の県!？」

旭川の総会、皆さんお疲れ様でした。
来年は高知大会ということで、「知っとこ高知」の連載をさせていただくことになりました。
よろしく願います。

高知といえば「カツオ」など海のイメージが強いですが、実は森林面積が84%を占める森林率日本一の山の県なのです。

「四万十ヒノキ」「魚梁瀬スギ」など良質な木材の産地としても昔から知られ、大阪城築城にも藩の御用木として献上され、豊臣秀吉から「日本一の銘木」とお墨付きをもらったとのこと。
今も大阪に残る「土佐堀」や「白髪橋」(土佐の白髪山から切り出した木材を運んだ木材市場があった)という地名はその名残といわれています。

林業は衰退しましたが、全国的にも有名なデザイナー梅原真さんたちが近年、NPO「84(はちよん)プロジェクト」を立ち上げ、高知県の一番の弱点であった森林を一番の強みに変えようと奮闘されています。
ウチの近所の土佐商行さんは、「もくめん」という、木をそうめんのように削った緩衝材を販売していますが、「日本最後のもくめん屋」となった今、SDGsでプラスチックに代わる緩衝材として脚光を浴びています。
また、「ヒノキ」の小さな切れ端をお風呂に浮かべるだけの商品(ヒノキの香りを楽しむ商品。販売:四万十ドラマ)が環境型ノベルティ商品として4億8千万円を売り上げるなど新しいビジネスも生まれています。

※ちなみに「ヒノキ」は日本と台湾にしかなく、台湾では伐採禁止種目になっているので、「ヒノキ」は日本独特のものといえます。

この山の恵みが、川の清流を育み、海の豊かな漁場の源となっているのです。

リーブル出版(株式会社リーブル)
代表取締役 坂本 圭一朗

★あしがき

今回の「会員便り」は今年の新入会会員の株式会社スリースパイス渡辺社長にご登場いただきました。「自費出版」のハードルの高さを少し低くして、より多くの方にその機会を提供していくことも私たちの大切な役目ですね。
そして、「知っとこ高知」が始まりました。高知は日本一の「山の県」?! 知らなかったです。

